



# 井上道義の 未来だった今より

先週書いたユダヤ人の一匹狼のマネジャーは最終的に「お前は俺にコーヒー1杯おごろうとしない!」と突然怒り、関係が終わった。これなんか45歳も年上の大金持ちに金銭を払うなんぞ逆に失礼と思っていた日本人の道義との違いか。しかし、欧米発祥の芸術で欧米のトップに伍していくにはそれこそ他人のふんどしで戦う必要もあるようだ、僕の先輩は誰それの弟子ということを常にアピールし続けた。そういう手を使う人は今も多いが、僕は心底恥ずかしくってそれは出来ない。ほかの何物にも変えられない存在になりたい欲望がとてもなく強い。

しかしそうした民族から見れば、そんな甘い青二才的ナイーブさは噴飯ものだろう。彼らは利用できる人には本気で頭を下げるし、相手の欲望をすぐ見抜きあからさまに利用する。したたかな強さが信条だ。タイプライターで3枚4枚と推薦

## 続・老いた一匹狼

文を書いてくれたこのユダヤ人と離れてから自分のパンツで世界と戦い、実は彼の方法をかなりまねしてやったが、上に登れば登るほど激しくなるそんな駆け引きや、うそ八百の人間関係には心底閉口したものだ。

急峻な山は高くなれば住みにくく、立てる場所も狭くなる。下から仰ぎ見る世界とは違うものだ。自分がそこに立つことに強い意義を感じられなければ面白いものではない。僕は《遊びをせんとや生まれける》の人間だからなあ。待てよ、僕もああいうのを心のどこかでうらやましいと思っているのかもしれない。まるで故郷を捨てて都会に行き、裸一貫で誰のものでもない自分の人生を暴れまくり、しかし称賛に満たされある日突然殺されるような人生を。

(オーケストラ・アンサンブル金沢)  
音楽監督

ダイヤモンドは宝石の王様と言われる。その美しさは多くの人々を魅了し、その価値は4C (Color, Clarity, Carat, Cut) という指標で評価される。我々は美しさもさることながら、ダイヤモンドが持つ物性に魅了された。例えば、ダイヤモンドは最も硬く、最も熱を伝えやすい材料として有名だが、それ以外にも非常に高い電子移動度や絶縁破壊電界など、半導体として極めて優れた物性を持つ。ダイヤモンドを用いた半導体パ

24

金沢大学

採訪

## ダイヤモンド基板開発

理工研究域電子情報学系

徳田規夫准教授



原子レベルで平坦なダイヤモンド表面に形成した1原子層分の高さを持つ正三角形のダイヤモンド島

ワーデバイスは、現在の材料であるシリコン(ケイ素・Si)や、次世代材料として期待される炭化ケイ素(SiC)、窒化ガリウム(GaN)よりも性能が圧倒的に優れている。ダイヤモンドパワー・デバイスは低損失で電力変換が可能で、極めて高

成している。ダイヤモンド(黒鉛)を使って

いしかわスクエア

い省エネ  
研究室  
エハ(薄  
ス応用を  
工ダイヤ  
成してい  
工)に使  
ては、